

パターン別要請内容内訳

(参考)海上輸送パターン一覧表

			島内関連事業者の存在	
			無	有
使用船	チャーター船	自治体手配	Aパターン	Cパターン
		業者手配	-	Dパターン
	定期船 (最終所有者手配)	Bパターン	Eパターン	

台数が少なく輸送効率の悪い自治体からの要請が増加 ⇒ Aパターンの総事業予定額・台当たり単価が上昇。
 (総事業予定額 1,080千円 → 3,395千円)
 (台当たり単価 12.3千円 → 17.4千円)

本土に近く、輸送単価が低い離島からの要請が増加 ⇒ B・Eパターンの台当たり単価の減少
 (台当たり単価 Bパターン 15.2千円 → 10.9千円)
 (" Eパターン 5.3千円 → 5.0千円)

17年度同様に業者が海上輸送を手配するパターン(D・E)が発生台数のほとんどを占める
 (構成比 17年度 92.8% → 18年度 89.1%)

海上輸送パターン	市町村数	島数	発生予定台数		総事業予定額 (千円)	台当たり単価 (千円)
			(台)	構成比(%)		
A	18	34	195	0.3	3,395	17.4
B	82	149	6,765	10.6	73,866	10.9
C	-	-	-	-	-	-
D	14	19	16,665	26.2	90,144	5.4
E	48	56	40,011	62.9	200,901 ^{*1}	5.0
計	162	258	63,636	100.0	368,306	5.8

1つの島で複数パターンを活用していることや、同一車両において複数回の海上輸送が発生することによる重複カウント分を含む。
 (参考資料1-2の合計と異なる。)

(参)17年度内訳

海上輸送パターン	市町村数	島数	発生予定台数		総事業予定額 (千円)	台当たり単価 (千円)
			(台)	構成比(%)		
A	2	8	88	0.2	1,080	12.3
B	49 ^{*2}	89	4,000	7.0	60,851	15.2
C	-	-	-	-	-	-
D	12	18	13,866	24.1	72,815	5.3
E	44 ^{*2}	49	39,492	68.7	208,795	5.3 ^{*1}
計	107 ^{*2}	164	57,446	100.0	343,541	6.0

*1: パターンEは市町村数・島数増加にもかかわらず総事業予定額が減少しているが(208,795千円 → 200,901千円)、佐渡市の事業費見直しで半分以下になったのが原因

*2: 長崎県平戸市・沖縄県宮古島市合併により 5市町村